

いもう 葦毛通信



ヒメウラナミジャノメ

2023年9月28日
豊橋市文化財センター
豊橋市松葉町三丁目1
TEL: 0532-56-6060

No. 145

1、第7回葦毛湿原再生フォーラム

「葦毛湿原のヒメヒカゲと豊橋のチョウ」

とき：10月28日(土)開会13時55分～16時30分(開場13時30分)

ところ：豊橋市民センター カリオンビル6階多目的ホール(松葉町2丁目63)

講師：白井和伸(静岡昆虫同好会幹事)・贅元洋(豊橋市文化財センター学芸員)

演題：「葦毛湿原と豊橋の蝶」 「葦毛湿原のヒメヒカゲの現状」

定員：99名 当日先着順 参加料：無料

問合せ：豊橋市文化財センター(☎0532・56・6060)

国指定天然記念物「葦毛湿原」には、愛知県指定希少野生動植物種に指定されているヒメヒカゲを代表とする様々なチョウが生息しています。このヒメヒカゲの現状について報告を行い、ヒメヒカゲを含めた葦毛湿原と豊橋市に生息する蝶に関する最新の研究を発表していただきます。

葦毛湿原のヒメヒカゲは、今年までの10年間生息数調査を続けてきました。これまで、保護の観点から詳細な情報は葦毛通信にも掲載してきませんでした。今回初めて詳細な実態を報告するとともに、様々な問題点を提起したいと思います。

1) ヒメヒカゲ

ヒメヒカゲは愛知県絶滅危惧I B類・愛知県指定希少野生動植物種に指定され、採取は禁止されています。愛知県内では尾張では絶滅したようで、三河でも数か所に生息するだけです。又、静岡県では1か所だけです。6月に羽化し成虫になりますが、成虫の期間は短く1か月ほどです。葦毛湿原では今年、交尾中の個体と孵化直後に幼虫が卵殻を食べているところが撮影できました。卵の直径は1ミリほど、幼虫の体長は3ミリほどです。



交尾中のヒメヒカゲ(左:オス、右:メス)



孵化直後の卵殻を食べる1令幼虫

第7回 葦毛湿原再生フォーラム

葦毛湿原のヒメヒカゲと 豊橋の蝶

2023.10月28日(土)
開場:午後1時30分から

申込不要・当日受付

参加
無料

定員
99名
先着順

会場

豊橋市民センター6階多目的ホール
(カリオンビル) 440-0897 愛知県豊橋市松葉町二丁目63

内容

国指定天然記念物「葦毛湿原」には、愛知県指定希少野生動植物種に指定されているヒメヒカゲを代表とする様々なチョウが生息しています。このヒメヒカゲの現状について報告を行い、葦毛湿原と豊橋市に生息する蝶に関する状況を発表し、会場の参加者と質疑応答を行います。



講演

白井 和伸
(静岡昆虫同好会幹事)

プログラム

| | |
|-------------|-------------------------------------|
| 13:30 | 開場 |
| 13:55 | 内容説明・事務連絡 |
| 14:00~15:00 | 「葦毛湿原のヒメヒカゲの現状」 ●豊橋市文化財センター 費 元洋 |
| 15:00~15:10 | 休憩 |
| 15:10~16:10 | 「葦毛湿原と豊橋の蝶」 ●静岡昆虫同好会幹事 白井和伸 |
| 16:10~16:30 | 質疑応答 |
| 16:30 | 終了 |



お問い合わせ

豊橋市文化財センター 440-0897 豊橋市松葉町3丁目1番地

2、2023年度モニタリング報告-7

葦毛湿原ではシラタマホシクサが満開になっています。今年は猛暑の影響があるのか、秋の訪れが遅く秋の花の開花が遅れているようです。

1) 四の沢の変化-2

四の沢上流部では、バックホーで除去したネザサの根を仮置きした山から埋土種子を救出する作業を行いました（葦毛通信 No. 134 参照）。作業終了後は植物が何もない状態（下左写真）でした。その後、根の山からミカワバイケイソウが発芽したので、周辺に植え戻しました。これまでも仮置きした根の山からミカワバイケイソウが発芽して救出したことが何度もあります。現在は作業終了から約6か月が経ちましたが、様々な植物が発芽して土が見えなくなっている状態です（下右写真）。

取り残されているネザサも発芽しましたが、トモエソウが根の山の縁（画面手前側）に沿って複数発芽しました。この場所は大規模植生回復作業によってトモエソウが復活した地点ですが、多くの埋土種子があったのだと思います。



ネザサの根の山：処理後（2023年4月5日）

約5か月後（2023年9月20日）



四の沢上流部（2023年5月1日）

約4か月後（2023年9月7日）

上写真は、ネザサの根の山の西側に隣接するところで、四の沢の流れが緩やかになり、ミカワバイケイソウが自生していたところです。また、ネザサの根の山から救出したミカワバイケイソウを植え戻したところです。ミカワバイケイソウは順調に開花したのですが、6月2日の豪雨により大量の礫が堆積し、一部では深く掘られて溝状になったところもあります。来年、ミカワバイケイソウが発芽してくるのか心配しています。

四の沢ではこれまで様々な植物が発芽し、開花しました（下写真）。悉皆調査はできていないので、発芽したすべての植物が記録されているわけではありませんが、多くの植物が発芽・開花しています。来年はさらに多くの植物が出現すると期待しています。



ハンカイソウ（2023年5月26日）



ミズギボウシ（2023年9月7日）



ヒヨドリバナ（2023年9月24日）



サクラタデ（2023年9月24日）



センニンソウ（2023年8月6日）



イボクサ（2023年9月24日）